

緑の相談所だより

No.10

発行日 平成20年 2月 1日
編集・発行 財団法人旭川市公園緑地協会 緑の相談所

講習会のご案内

2月開催

『冬から春に向かった洋ランの育て方』

とき 平成20年 2月3日(日)PM 1:30 ~ 3:30
講師 旭川蘭友会 顧問 笠原 幸三 さん
定員 50名

定員になり次第募集は、締め切らせていただきます。
お申込みはお早めをお願いいたします。
会場は全て旭川市緑の相談所(旭川市神楽岡公園内)
緑の学習室です。
お申込み・お問合せ・ご相談は、
旭川市緑の相談所 (0166)65-5553 まで。

展示会のご案内

『神楽岡公園の四季』 写真展

とき 平成20年 2月 1日(金)~2月29日(金)
AM 9:00 ~ PM 5:00

『花の写真展』 道新文化教室

とき 平成20年3月 2日(日)~16日(日)
AM 9:00 ~ PM 5:00

場所 緑の相談所 ロビー

『旭川で育つ宿根草とイングリッシュガーデン』

とき 平成20年 3月 9日(日)PM 1:30 ~ 3:30
講師 上野ファーム 上野 砂由紀 さん
定員 50名

『春の園芸作業』

~ 草花と野菜の苗づくり ~

とき 平成20年 3月16日(日)PM 1:30 ~ 3:30
講師 緑の相談所 相談員 芝山 一雄
定員 50名



タラノキ

ウコギ科

枝の少ない落葉低木

タラノキは全国のいたるところの日当たりの良い土手や山の斜面、疎林の中、高原などに自生しており、高さ 6m に達する落葉性の低木で幹の分岐が少なく直立している。

大小の鋭い刺を多数つけているが変種メダラには葉柄、葉面にはトゲがない。

春は山菜の王者として君臨。

春の食膳にのぼるタラノ芽の天ぷらのおいしさは、同じウコギ科のヤマウドと並んでまさに山菜の王者にふさわしい。このため幹から葉先まで刺で完全武装していても見つけられるとすぐに摘み取られる気の毒な木である。



ツルウメモドキ

ニシキギ科

果実が美しく生け花に用いられる木

日本各地に自生する雌雄異株のつる性木で、幹は直径約 20 c m にもなる。

つるは左巻きで葉は互生する。つるは無毛で他の木にからみ、1 年で数 m 伸び林業では有害な植物である。

核果は球形で鮮黄色となり、三裂開して黄赤色の仮種皮をつけた種子を露出する。

樹皮を繊維原料に利用

主として野生のものを採取して切花に用いられる。

つるは滑らかでしなやかな茎からアイヌの人たちはその皮をはいて内皮から繊維をとった。この繊維は真っ白で重宝され弓づる、男の背負い縄や女性の下紐に使われ、シナノキの皮よりも強いと喜ばれていた。



アマリリスをうまく咲かせよう

—早春の鉢花として大人気—

冬から早春にかけて大きな球根から力強い花茎を勢いよく伸ばし、我こそは花の女王なりとばかりに誇らしげに咲き誇ります。2個から数個の豪華な花はまさに春の球根花の女王です。

【種類】

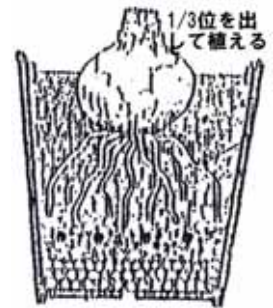
原産地は南米のペルー、ブラジルを中心に数十種あります。これを利用して交雑の園芸種がたくさん生まれました。鉢花向きの巨大輪種ルドウィヒ系、切り花や花壇向けの在来種系、両者を合わせた小、中輪多花性のグラシリス系に分けられます。

日本には明治時代に渡来し、ジャガタラスイセンの和名で呼ばれ、国内交配種として日本的な名がついたものもあります。

球根の植え替え方

【球根の選び方】

- ・ 品種名がはっきりしているもの
- ・ 形が良く、大球で重みがあり、表面に傷みや傷がなく、しまっているもの
- ・ 球周は大輪系で約 24 cm、中・小輪系で約 18 ~ 20 cm



【栽培のポイント】

- ・ 置き場所は芽が出たら日当たりの良い、暖かいところへ。
- ・ 花が咲いたら涼しいところの方が長持ちします。
- ・ 水やりは鉢土の表面が乾いたら与えるのが基本、花茎が出る前までは水を控える。
- ・ 花が終わったら、花柄を摘み、10日に1回1,000倍の液肥を与えて球根の肥大を図る。
- ・ 用土は水はけの良い土(赤玉土4、腐葉土4、礫2)を使う。

【フタつきポット入り球根の場合】

- ・ 乾燥休眠で販売されているので、先ずタツブリ給水をし、以後は軽くなったら給水をする。
- ・ 日当たりの良い窓辺に置いて花蕾が出てから、2カ月位で開花します。
- ・ 花が終わったら植え替えが必要、前述の用土でひと回り大きな鉢に植えて育てると翌年もすばらしい花が咲きます。

展示室の植物たち (18)

コルディリネ・テルミナリス (和名 センネンボク)

リュウゼツラン科コルディリネ属

園芸的にはドラセナと呼ばれていますが、植物学的には別種に区別されています。分布は東南アジア、オーストラリア、ニュージーランドで、常緑の低高木で葉の長さが 20 ~ 50 cm になり太い地下茎が特徴です。種類も約 20 種といわれていますが、栽培されているのはほとんどがテルミナリスの変種です。これは草丈が 3 m くらいで葉が 30 ~ 50 cm になり新葉が紅赤色や濃紫紅色、燈紅色のほか赤色の覆輪や縦縞が入り色彩の変化に富むものが多くあります。

相談所の地植えのテルミナリス アイチアカ は冬期間の花色の少ない時期に、一段と冴えた赤紅色の葉で来館者の目を和ませてくれます。

2月の園芸作業

1 鉢花類

シクラメンがしおれ傷んだ花茎、葉柄はまめに摘み取り、日の当たる15以下の涼しい場所に置きましょう。

ポインセチアは赤色等の花包はまだ着いて十分楽しめますので低温と乾燥に注意しましょう。

エラチオールペゴニアは開花中です。日当たり良く18以上を保ち、随時花柄摘みをして開花を補助しましょう。

カランコエは花が終わり休止期に入りますので、花柄摘みをして、5～10で管理し水やりは控えましょう。

乾燥させ休眠していたアマリリス、球根ペゴニア等は植替え時期です。鉢から抜き取って古い土を落とし古根を処分して新しい用土(赤玉土4・腐葉土4・火山礫2)に、アマリリスは球根の頭は3分の1程表面に出る浅植えにします。

2 観葉植物類

ゴールドクレストは葉枯れを起こしやすいため高温と乾燥した場所は避け、葉水をまめに行いましょう。

保温に努めて最低温度に注意し、水やりは鉢土が乾いたら暖かい日の午前中鉢底からしみでるほど与えます。肥料は施しません。

3 洋ラン類

シンビジウムの花は長持ちしますが3週間ぐらい楽しんだら切花にし、新芽の生長を促しましょう。新芽は1バルブあたり1個の芽にし、その後の出芽はとりましょう。

デンドロビウムの花は1か月ほど楽しめますが、咲き終わった花柄は花茎の付け根で切り、直立している太いバルブは切らないで残しておくこと。肥料は施さない。高芽になったのは温度の高い部屋に置き、水を過剰に与えたことが原因のひとつです。

カトレアの冬咲き種は開花の最盛期です。開花する時の状態は、生育活動を中止し、シースから出蕾しやがて蕾が大きくなって咲きます。しかし、バルブに元気のなかった場合花芽は出ません。この時期は肥料を吸わないので与えません。

コチョウランは花期が長く2～3か月咲き続けますが次の開花の為に根元から早めに切り取って(開花後50日位)切花で楽しむのがベストです。贈答用に作られた寄せ植えは3～4月頃には、一株ずつ素焼鉢に植替えます。

3月の園芸作業

1 鉢花類

ゼラニウム、ペゴニア、コリウス、サフィニア等室内に親株を保存してきたものは日に良く当て萌芽させましょう。新芽が出たら、バーミキュライト等の用土に葉を3～5枚程つけ2～3cmの深さに挿し木して新苗を育てましょう。

クジャクサボテンは日当たりのよい温かい場所に移して、水やりを開始し、肥料は与えません。

クンシランは花後も水やりを続け、徐々に薄い液肥を与えましょう。

シクラメンは開花後も水やりを続け、肥料も与え休眠させず生育させましょう。

花壇用草花の種まき時期です。ペゴニアは2月中～下旬、サルビアは3月上旬～中旬、ペチュニア、インパチェンス、アゲラタムは3月中旬、マリーゴールドは4月上旬がよいでしょう。

2 観葉植物・果樹類

部屋が乾燥するためカイガラムシやハダニが発生します。葉がベトベトしてきますので柔らかい布で拭き取りましょう。スプレーで霧吹きも有効です。

リンゴ、ナシ、サクランボ、スモモ等の果樹の剪定時期です。目的は果実の着きを良くするばかりでなく、病虫害を防ぎ、樹高を低く抑え、老化した枝を若い枝に更新する等必要な作業です。なお、切口には病気を防ぐ為「傷口癒合剤」を塗ると良いでしょう。また、越冬した病虫害を防ぐ為剪定後「石灰硫黄合剤」を噴霧器で木全体に散布しましょう。(注休眠中芽の出る前に散布すること)

3 洋ラン類

植替えのシーズンです。まずは今月初旬～中旬にかけシンビジウム属、デンドロビウム族(ノビル系)、カトレア秋咲き、パフィオペディム属と順に植替え、4月下旬まで終われば良いでしょう。なおコチョウラン等の高温タイプは4月中旬～6月までに植替えを行うのが良いでしょう。

シンビジウムは新芽が成長期に入る直前の春に植替え、株分けを行いましょう。

カトレアは新芽が膨らんでくるこの時期に、新しく伸びる芽が生長し根元から出る根が鉢に入るスペースがない状態の鉢、水苔が古くなり弾力を失った(ぼろぼろになる)場合植替えます。